



わたし図書館はじめます ひとハコ図書館

自分が小さな図書館の館長になったら？

という構想を一箱にぎゅっと詰め込んだ「ひとハコ図書館」

今年のテーマは「本のセカイ～図書館のドアをひらくと広がる世界」

「本」や「世界」につながる館長さんと「ひとハコ図書館」がそろいました。

新しい世界が広がる「ひとハコ図書館」と館長さんにぜひ会いにきてください！

ひとハコ図書館	館 長
世界への旅に出たくなる図書館	梅澤貴典 さん
おもしろい本だけ図書館／図鑑図書館	赤木かん子 さん
辞書を読む図書館（広辞苑編）	JJMalone さん
映画とデザインの図書館	桜井雄一郎 さん
ユニバーサルデザイン図書館	関根千佳 さん
豆本図書館	稲山ますみ さん
共和国国立図書館附属資料館	下平尾@共和国 さん
専門図書館	結城智里 さん
大相撲図書館	平岡章夫 さん
ひつじ図書館	やまもと さん
迷え！六法の森図書館	吉田利宏 さん
本の生涯図書館	ブックセンター滝山 さん
かこさとし図書館	村上貴彦 さん
シャーロッキアン養成図書館	レストレード&グREGスン さん
おいしい植物～野菜の図書館	原朋子 さん
北多摩農村図書館	一般社団法人 農山漁村文化協会 さん
コイノニア図書館	コイノニア図書館 さん
世界を身近に感じる図書館	廣島あかり さん
よもあそ図書館	ほんとほんと さん
飯能市立&高校図書館	Hanno Libralian さん
ぎゅぎゅっと！こだいら図書館	小平市立中央図書館資料担当 さん（小平市図書館）
みとめあうってすてきだね図書館	ホーシ・ミフミ さん（東村山市図書館）
幻の壁画にまつわる絵本図書館	けやき図書館 さん（清瀬市図書館）
ちらっと！西東京市図書館	ちらっとちゃん（西東京市図書館）
■ 室内栽培装置	一般財団法人 機械振興協会 さん



☆館長プロフィール

★ひとハコ紹介

■ 世界への旅に出たくなる図書館

館長：梅澤貴典 さん

☆16歳の頃からアルバイトで稼いだお金で海外を旅するバックパッカーに。20歳の頃、司書講習の「図書館通論」の授業で知ったエジプトのアレクサンドリア図書館に憧れ、以降世界中の図書館を訪れている。

また、中央大学理工学部の図書館において、電子図書館化と学術情報リテラシー教育を7年間担当。最近、小学生をはじめ中高生や一般市民・企業人も対象とした学術情報リテラシー教育による知的生産力・企画立案力の向上策についても研究と実践を続けている。

★旅のガイドブックだけではなく、世界中いろんな国のおいしい食べ物やお祭りなどの文化から、幽霊や妖怪などの怖〜い話まで、ありとあらゆる情報を集めた図書館。

本だけではなく、地図や地球儀、写真、いろんな人の旅日記、映画や映像も自由に見ることができ、本物の民族衣装を着たり、世界の音楽のコンサートを聴いたりもできる。

■■■【講演会：図書館をめぐる旅〜世界編】■■■

エジプトのアレクサンドリア図書館に憧れ、世界中の図書館をめぐる旅にでた講師とともに、訪れた国のスライドを見ながら、視点を変えて世界を旅します。

〔日 時〕5月21日（日）13:00～15:00

〔申 込〕不要 当日直接会場へお越しください

■ おもしろい本だけ図書館 / ■ 図鑑図書館

館長：赤木かん子 さん

☆児童文学評論家。子どもの頃に読んで、タイトルや作者名を忘れてしまった本を探し出す「本の探偵」

★かならずおもしろい本がある！（おもしろい本だけ図書館）

★あまり好きじゃない人でも思わずおおっ！という図鑑を集めました。（図鑑図書館）

■ 辞書を読む図書館（広辞苑編）

館長：JJMalone さん

☆現在製紙会社勤務。紙の本が好きなので、最近の出版不振には心が痛みますが、若者は決して「活字離れ」していないというデータもありますので、悲観してはいません。媒体は紙でも電子書籍でも構わないので、「本を読む文化」は、後世に受け継がれてほしいと思っています。

★本屋大賞受賞作『舟を編む』（三浦しをん）が昨年アニメ化され、広辞苑を使った往年のテレビ番組『たほいや』がイベントで復活するなど、世は空前の国語辞書ブーム（?）です。そこで、日本で最も有名な国語辞書『広辞苑』で楽しんでもらうための図書館を考えました。

広辞苑の隠された歴史（プロジェクト X とそれに対するクレーム）、広辞苑の版ごとの語釈の比較、広辞苑の元になった辞書の紹介、広辞苑を使ったゲーム（たほいや）で遊ぼう……などなど、『広辞苑』という辞書を手引きに、豊饒な言葉の海を漂っていただきたいと思います。

■ 映画とデザインの図書館

館長：桜井雄一郎 さん

☆本のデザイナー、映画雑誌「南海」編集人

ブックデザイナー鈴木一誌氏のアシスタントを務めたのち、2017年に独立。2014年、VHSの話題に特化した映画雑誌「南海」を創刊。現在までに3号を刊行。

★みなさんは「映画とデザイン」と聞いて、何を思いかべますか？きっと、そんなこと考えたこともないという人が、多いのではないかと思います。おとなの人の中には、映画のポスターをイメージする人がいるかもしれません。むかし、駅や商店街など、街なかの色々なところに、映画のポスターが貼られていました。映画のポスターには、なにが描かれているのでしょうか。映画の題名があり、俳優の写真があり、宣伝のことばがあります。題名、写真、宣伝のことば、これらはぜんぶ、その映画を見てもらうために、誰かが考えだしたものです。つまり、デザインなのです。

「映画とデザインの図書館」では、このような映画にまつわるデザインを知るための本をそろえました。楽しい本ばかりですから、遊びにきてください。

■ ユニバーサルデザイン図書館

館長：関根千佳 さん

☆想像力たくましいおばちゃん、未だに自分が少女だと信じている。世界中の子供たちが、障害があってもなくても、本を自由に読める世界を夢見ている。10個ほどの大学で教えている。ユニバーサルデザインという「よのなかのつくり方」を広めている。ユニバーサルデザインや高齢社会に関する本も何冊か書いている。日本ペンクラブ会員。

★ユニバーサルデザインの考え方や、事例について、多様な年代の人が手に取って読める図書館。できる限り、テキストが付加されていたり、CDがついているものを優先。ジャンルも、建築から公共交通、ものづくり、ICTまで幅広い。障害のあるひとや、高齢者の理解につながるものも。

■ 豆本図書館

館長：稲山ますみ さん

☆日本豆本協会スタッフ、東京製本倶楽部会員

★館長が作った豆本作品（これは貸し出せません。ごめんなさい）と豆本や製本に関する本を集めた図書館です。世の中は電子書籍化が進み、製本の機械化どころか製本する必要すらなくなってしまいそうですが、自分の手で一冊の本を作っていくのは楽しいものです。ボロボロになってしまった大事な本をきれいに作り直してあげることもできます。豆本は簡単なものなら数時間もあれば作れます、豆本図書館で豆本やオリジナルの本を手づくりする手製本の楽しみを知っていただけると嬉しいです。

■ 共和国国立図書館附属資料館

館長：下平尾@共和国 さん

☆東京久留米に引っ越してきて1年足らずの2014年に、「共和国」という出版社を創業しました。

「書物で世界をロマン化します」を合言葉に、ひとりですっせと活動中です。

★2014年6月に最初の2点を刊行して以来、この間作ってきた24点の中からユニークな本を選んでみました。

■ 専門図書館

館長：結城智里 さん

☆東京タワーの近く、芝公園にあるBICライブラリの図書館員

★BICライブラリは機械産業の専門図書館ですが、そのほかにもさまざまな専門図書館があります。この図書館ではいろいろな専門図書館とその専門図書館を探すことのできるdeep libraryをご紹介します。

■ 大相撲図書館

館長：平岡章夫 さん

☆某図書館にて2002年から司書業務に従事。相撲研究家の会「相撲趣味の会」の会員でもあります。

図書館の展示小委員として、展示会で大相撲をテーマとして扱ったことが2度あります。また、2016年には、「相撲趣味の会」で行った展示会にも資料を出展しました。今回は個人としての参加になります。

★大相撲に関する、新しいもの・古いもの含めた様々な書籍・雑誌の展示です。歴史的視点を提示できるよう工夫しました。

■ ひつじ図書館

館長：やまもと さん

☆登山と温泉とサツマイモをこよなく愛する東久留米市民です。あの山本書店さんとは親戚ではありませんが、今は飯田橋にある現代書館という出版社で編集者として本に携わっています。

★今まで興味がなかった...というよりも、その存在すら知らなかったという自分とは縁のなかったものをこそ見つけてほしい。ほんの小さなことでも新たな発見、驚きが得られるものになれば...！

■ 迷え！六法の森図書館

館長：吉田利宏 さん

☆東久留米市図書館協議会委員（市民委員）、著述業、元衆議院法制局立案担当職員

★六法の中では誰もが迷い人なのです。調べたい法律や調べたいことからの探し方、こっそり教えます！
また、楽しい迷い方も… 議員が法案審議で使う資料も公開！

■ 本の生涯図書館

館長：ブックセンター滝山 さん

☆東久留米市滝山にある書店の書店員！

★私達の生活の中で当然のようにある「本」。本にはいくつもの物語が書かれています。
そんな本を作るのにも当然いくつもの物語があります。

■ かこさとし図書館

館長：村上貴彦 さん

☆幼稚園・保育園に絵本を卸している本屋さんです。

★自分が子どもの頃読んでもらった絵本の中で、かこさとしさんの絵本が大人になった今でもよく覚えています。そんな私の幼な心に残ったよりすぐりのかこさとし作絵本を皆さまにご紹介したいです。

■ シャーロックアン養成図書館

館長：レストレード&グレグスン さん

☆日本シャーロック・ホームズ・クラブ会員。月例会を支える中堅と、最近サボリ気味の会員。

両名とも、ホームズ本が出ては無視できない体質に既に蝕まれている。

ホームズを通して、出版や古書、図書館の世界に関わる。

★世界でもっとも有名な探偵であるシャーロック・ホームズは、今から130年前の1887年『緋色の研究』でデビューしました。近年は、ハリウッド映画やBBCドラマ『シャーロック』、NHKのパペットホームズなど、新たなスタイルのホームズが登場しており、若い世代のホームズファンも増えてきつつあります。

ホームズを愛する「シャーロックアン」たちは、100年以上もの間、ホームズに関する様々な研究を行っています。しかし、新たにホームズに興味を持った人たちが、過去のホームズ研究について知りたいと思っても、日本で出版されているホームズ関係書の多くは絶版・品切れで、読むのが困難です。そ

こで、新刊書店で買えないホームズ関係書の中から、基本と思われるものをピックアップしてみました。
「これさえ読めば、あなたも立派なシャーロッキアンだ！」

■ おいしい植物～野菜の図書館

館長：原朋子 さん

☆多摩六都科学館の主任研究員。科学館では、主に観察系の教室や展示の企画や、地元の方々と北多摩の自然の魅力を発信する取組や、科学館での読み聞かせワークショップなどに携わっています。

子どもの頃からずっと科学系の絵本になじみがあり、特にかこさとしさんの絵本が大好きでした。

★毎日のように店頭や食卓で見かける野菜ですが、「植物」としての姿は意外と知られていないものです。この図書館では、食べている部分以外の野菜の姿や、種から育てて次の種を残すまでの過程など、ふだん目にすることが少ない場面を教えてくれる絵本を軸にそろえました。大人向きにも、料理のコツや伝統野菜の紹介など、より食に通じる本がありますよ。

■ 北多摩農村図書館

館長：一般社団法人 農山漁村文化協会 さん

☆77 年の歴史ある食と農の出版社、農文協の営業担当です。普段は図書館や本屋さん、指導機関や研究機関、そして農家のみなさんに本を売る仕事をしています。

★私たち農文協は出版社ですが、元々は農村を豊かにするための読書運動をしていた団体でした。かつて常務理事を務めていた浪江虔氏は、戦前、鶴川村（今は町田市）に南多摩農村図書館をつくり、農家に役に立つ本を提供していました。戦後は農文協の活動として全国各地の青年団活動の中で読書会の開催をすすめたり、農家のための本を執筆、編集していました。

今回は、この浪江氏にならって、また3年間に東久留米市の農家のみなさんを回った経験を活かして、「北多摩農村図書館」と題して東久留米そして東京の農と食を広く知るための本を集めました。

■■■ 室内栽培装置 ■■■

一般財団法人 機械振興協会 さん

東久留米市八幡町にある機械振興協会技術研究所では、ものづくり企業の支援をしています。

今回は、野菜の室内栽培装置を図書館フェス仕様に製作していただきました。

「農」と「技術」から生まれる新たな発見の世界を「おいしい植物～野菜の図書館」と「北多摩農村図書館」と併せて展示します！

■ コイノニア図書館

館長：コイノニア図書館 さん

☆コイノニアはギリシャ語で「交わり」という意味です。「わたしたちは、一人ひとりが互いに尊敬し合い『共に生きる』精神を大切に、愛を持った支援に努めます。また、障害を抱えていても健康で文化的な生活ができるノーマライゼーション社会を目指します」を理念として、さまざまな障害を抱えた方の社会生活の場（製菓・製パン）と共同生活の場（グループホーム）を運営しています。館長は、そんなコイノニアを設立当初から見守ってきた読書家であり文筆家です。

★コイノニアに集う本好きのみんなと館長の「おすすめの本」を集めました。

■ 世界を身近に感じる図書館

館長：廣島あかり さん

☆当時大学1年生の私は、お弁当屋さんでアルバイトをしていました。職場で出会った台湾の友人と台南の

島を一周した事をきっかけに「旅」の魅力を知りました。大学卒業後、一般企業に就職し働くも「世界をもっと知りたい！自分の目で見てみたい！」という思いから、旅に出ました。

2016年12月～2017年3月まで17カ国を巡る世界一周の旅をしました。私が見た世界は、まだほんの一部ですが、少しでも世界に興味を持って下さる人が増えればいいなと思いました。写真でしか見た事がなかった景色、様々な国の人との出会いや交流は、私にとって一生の財産となりました。これからの未来の地球の為に、少しでも地球に優しい生き方をしていきたいです。

★『ワクワクする気持ちに正直に、さあ旅に出よう！』

世界に興味を持って、旅したくなるような本を集めました。また、私が世界一周の旅を通して出会った人々から学んだ生きる知恵、様々なライフスタイルを紹介します。

■ よもあそ図書館

館長：ほんとほんと さん

☆東久留米で誕生して15年！ひっそりたたずむ科学の本を「もっとよんでもらいたい！」と、実験や観察、工作などのワークと本の読み聞かせを行い、さらに広がる世界を本で紹介する活動をしています。図書館だけでなく、科学館や学校、はたまた駅中のイベントスペースにも出没します。

コミュニケーションで、大人も子どもも、「ほんと！ほんと？」と心の動く「本と本当（自然や科学の真理）」をつなぐ人たちです。

★「よもう！あそぼう！かがくの本」略して「よもあそ」は、年に6回行っています。この1年間に紹介した本を集めました。身近な自然に目をむけると、知らないことがいっぱい！実際に見て、試して、考えて。それから、本も読んでみましょう。「言葉」によって、「発見」が知識として、しっかり根づきます。

■ 飯能市立&高校図書館

館長：Hanno Libralian さん

☆西武池袋線終点「飯能」の市立図書館に勤務する司書です。早6年目。図書館で働くことの楽しさと難しさを考えつつ、日々がむしゃらに仕事をしています。今回、思いがけず勤務が休みとなり、東久留米市の図書館フェス2017に参加することができて、とても嬉しいです。

★飯能市立図書館は3年前から市内の県立飯能高校と定期的な交換展示を行っています。今回はそのご紹介と市のPRのため、東久留米市立図書館に図書館を開館することにしました。



■ ぎゅぎゅっと！こだいら図書館

館長：小平市中央図書館資料担当 さん （小平市図書館）

☆本を選ぶところから除籍するところまで、小平市の資料の管理を行っています。こういった本を選ぶのか、本棚にどんな工夫をすれば本との出会いを作れるのか。そんなことを考えながら仕事をしています。

★小平市ってどこ？名前は聞いたことあるけど…。そんな人、いると思います。でも、玉川上水の豊かな自然に、ブルーベリーを使ったお菓子など、キラリと光る小平市のいいところは、実はいっぱいあるんです！そんな小平市のエッセンスをぎゅぎゅっと集めました。

■ みとめあうってすてきだね図書館

館長：ホーシ・ミフミ さん （東村山市図書館）

☆ある時はあかちゃん相手にわらべうたをうたい、ある時はティーンズに向けた本の紹介を書く。利用者の

皆さんに「こんな本があるんだ！」という驚きと喜びを提供したく、館内展示のネタを常に考えている児童・ティーンズ担当です。

★世の中にはいろんな人がいる。「みんなちがってみんないい」とは言うけれど、どうやったら優しく広い心持ちになれるだろう。まずは絵本でいろいろな人のあり方を知るところから始めてみませんか？個性や違いを認め合うきっかけになる絵本を集めてみました。

ひとりで静かに読むもよし、誰かに読んでもらおうとなお心地よい、子どもから大人までどうぞ。

■ 幻の壁面にまつわる絵本図書館

館長：けやき図書館 さん （清瀬市図書館）

☆中央図書館の他に、地域に密着した地域図書館が5館ありますが、なかでも元町こども図書館は、児童専門図書館として、読み聞かせコーナーがあり、館内で子ども向け DVD を楽しんだり、乳幼児から小学校高学年の子どもたちが使いやすい図書館となっていますので、ぜひお越しください。

★70年代の初め、「子どもにとって、絵本はもっと面白くなければならない」という、やなせたかし氏の思いを同じくする仲間が、【漫画家絵本の会】を結成しました。

この漫画家絵本の会会員の手塚治虫、佐川美代太郎、柳原良平、長新太、多田ヒロシ、前川かずお、馬場のぼる氏ら錚々たる作家により、1987年に埼玉県で開かれた緑化フェアのために製作した壁画が、数奇な運命を辿り現在は清瀬市の児童センターに飾られています。

幻の壁面に思いをはせ、彼らの絵本を手にとってみませんか？

■ ちらっと！西東京市図書館

館長：ちらっとちゃん （西東京市図書館）

☆いつからいたのかは誰も知らない。気がついたら図書館に住み着いていた、本の妖精（たぶん）。

はずかしがりやで、いつも図書館の本の影からちらっとこっちを見えています。本に夢中になっている人の横顔が好き。ちょっとコロボックルに似ているかも。

西東京市図書館では、ちらっとちゃんと同じ名前の図書館情報紙「ちらっと」を2ヶ月ごとに発行しています。図書館で見つけたら“ちらっと”見てみてください。

★西東京市（旧田無市・保谷市）が登場する作品を集めました。23区や某中央線沿線の市と比べ、悲しくも目立たないわが市…某芸人さんの大ヒット小説のように、丸ごと舞台になっているなんてことは、滅多にありません（と思います）。

それでも！実はこんな作品にも、あんな作品にも、「ちらっと」登場する西東京市なのです。

実際の地図で、どこで何があったのか照らし合わせながら、お楽しみください。